〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連　カテゴリー１　リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、 特に重要なもの（上位５つ程度）を簡潔に記述 （関連　カテゴリー１　リーダーシップと意思決定）
	1）心身ともに健康に過ごす事 2）優しい気持ちが持てる事 3）興味や関心を満たしたくさん遊ぶ事 4）自分でやろうとする意欲が持てる事 5）自然に触れて感性豊かに過ごせる事
2	期待する職員像（関連　カテゴリー５　職員と組織の能力向上）
	（１）職員に求めている人材像や役割
	明るく笑顔を絶やさず優しく丁寧な関わりが出来る人。 保護者対応が親切で信頼されるような人。
	（２）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	保育士としての向上心を持ち、子どもを惹きつけられる様に沢山の引き出しを持って欲しい。 同じ職場で切磋琢磨しながら、協調性を持って仕事が出来る様にして欲しい。

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	9月1日現在、保育園を利用している全世帯を対象に調査を実施しました。兄弟姉妹のいる世帯は、1世帯として扱い、一番年齢の低いお子さんを対象として回答してもらいました。
調査方法	無記名方式。QRコードを記載したアンケートの案内を事業所を通じて保護者へ配付し、WEB上でアンケートに回答してもらい、取りまとめました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。

利用者総数	16
利用者家族総数（世帯）	14
共通評価項目による調査対象者数	14
共通評価項目による調査の有効回答者数	12
利用者総数に対する回答者割合（%）	85.7%

利用者調査全体のコメント

総合的な感想では、「大変満足」4名、「満足」6名、「どちらともいえない」2名であり、回答のあった83%の利用者が満足と回答しています。
毎日の保育サービスにおける「子どもの心身の発達」、「園における食事・おやつ」、「自然や社会と関わる機会の確保」、安心・快適性における「清潔で整理された空間」、利用者個人の尊重における「子どもの気持ちを尊重した対応」、「保育内容に関する説明」でそれぞれ満足度90%以上であり、高い満足度がうかがえます。自由意見では、「毎日楽しく保育園に通っています。担任の先生だけでなく、先生全員に見守られていて安心しています」、「毎日のように公園や児童館に遊びに行っていて子供も楽しいみたいで安心しています。外で遊んでいるからか体力がついたように思います」など園に対する感謝の声が寄せられています。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	11	1	0	0
92%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「先生達のおかげで、家で教えられない事をやってくださっていて、とても助かっています」などの声がありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	10	2	0	0
83%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「保育園に通ってから出来ることが沢山増えました。毎月の製作や室内遊びでもとても工夫されていて毎日楽しく登園してくれています」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答非該当
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	12	0	0	0
100％の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	11	1	0	0
92％の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「よく公園や児童館に行ってくれている」などの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	7	3	1	1
58％の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「柔軟に対応してくれる先生の方が多いが、そうでない先生もいる」などの声がありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	10	2	0	0
83％の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	9	2	0	1
75％の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「平日が多いので参加が難しい」などの声がありました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	9	3	0	0
75％の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「相談できる親切な先生もいるが、そうでない先生もいる」などの声がありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	12	0	0	0
100％の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	9	3	0	0
75％の方が「はい」と回答しています。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	9	2	0	1
75％の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「ちょっとした事でも、状況を説明して謝罪をしてくださるので信頼はあります」などの声がありました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	8	2	0	2
67％の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「まだ経験がないのでわからない」などの声がありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	11	1	0	0
92％の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	10	1	0	1
83％の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	11	1	0	0
92％の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「お迎え行く度に、活動内容や子供の様子を伝えてくれている」などの声がありました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	9	1	0	2
75％の方が「はい」と回答しています。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	10	2	0	0
83％の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリー１～５、７）

No	共通評価項目
1	カテゴリー１
	リーダーシップと意思決定
	サブカテゴリー１（１－１）
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　７／７

評価項目１
事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している　評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当

評価項目２
経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、
事務所をリードしている　評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当

評価項目３
重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて
意思決定し、その内容を関係者に周知している　評点（○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当

カテゴリー１の講評

園の基本理念は区のガイドラインに整合しており、パンフやしおりに記載されています
園の基本理念は、足立区の「保育の質ガイドライン」に整合し、“子どもの人権や主体性を尊重し、夢や希望を信じてたくましく生き抜く人づくり”です。また、保育理念には、“子供の個性を認める”、“自分を発揮できる”、“感性をはぐくむ”、“地域とともに育ちあう”が織り込まれています。これらを「園の募集用パンレット」、「入園の案内」にも示して保護者にも内容を伝え、玄関掲示板にも貼り出して保護者・職員がいつでも確認できるようにしています。さらに、言葉を変えて「平成6年度事業報告書」にも明記しています。

園の目指していることの実現に向けて、園長は取り組むべき内容を毎年説明しています
園長は、事業所が目指していること（基本理念・ビジョン・保育理念）を達成するために、年度初めに職員会議にて中期・長期計画、事業計画、保育の全体計画を示して、取り組むべき内容をわかりやすい形で説明しています。

とくに今年度は人材育成に取り組む姿勢を示し、園内研修では、時代の要請に応える内容のものと、保育内容そのものを選び出しテーマ設定をしていく事を伝えています。また、外部研修については、外部研修報告書を日々のミーティングで報告し、回覧により情報共有することを伝えています。

重要案件となる園長会議の結論など、園長は職員会議で内容・決定経緯を伝えています
重要案件には本部からの指示なども含まれ、毎月園長会議（足立区内のステラグループ5園）を行うことで、ここで出された結論を園に持ち帰り、決定経緯と内容は職員会議（月に1～2回の開催頻度）で伝えられます。なお、園長会議では、各園の課題を挙げて相談するため、相互のアドバイスや問題解決につながり、それぞれの園長が一人で悩むことなくチームワークとしての関わり合いが保たれています。また、保護者に向けては入園時の重要事項の説明や、それ以降では個人面談等で重要案件を分かりやすく伝えています。

2

カテゴリー２

事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー１（２－１）

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　６／６

評価項目１
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している　　評点（○○○○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー２（２－２）

実践的な計画策定に取り組んでいる　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　５／５

評価項目１
事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している　　評点（○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目２
着実な計画の実行に取り組んでいる　　評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしなが	○非該当

	ら取り組んでいる	

カテゴリー２の講評

保護者及び職員の意向・ニーズは、次年度の改善あるいは配置などに活かしています

保護者の意向の情報収集は、園からの利用者アンケートを主に活用しています。これにより得られた情報は、当園を含む足立区内の3つのグループ園が合同で取りまとめをしています。なお、このアンケートは、足立区の「保育実践振り返りシート」に沿った項目内容であり、毎年3月に実施しています。また、職員の意向の把握については、毎年10月から11月にかけて行う面談や日常あるいは随時のコミュニケーションを通して把握をしています。このような保護者及び職員の意向・ニーズは、次年度の改善や配属・配置に反映されます。

園を取り巻く内外の状況を把握し、事業運営や職員の働き方に活かしています

福祉全体の動向（行政・業界などの動き）や地域の待機児童数の推移・予測について、足立区（主として子ども家庭部地域保育課）からのメールや公報などの文書類により園に伝えられています。それらの内容は、必要に応じて保護者にも伝えています。また、足立区内にある法人グループの小規模保育園（3施設）とは、お互いに電話等で相談や連絡を取り合うなど頻繁に情報交換をしています。また、会社本部からは、経営状態について職員キャリアアップ・処遇改善・財務関係等の説明がされており、課題を相互に確認しています。

中・長期や単年度の事業計画の骨子には足立区ガイドラインが含まれます

園が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向け、中長期計画及び単年度事業計画を策定しています。これらの骨子としているものに「足立区教育・保育の質ガイドライン」（H30.4）及び当園の保育指針があり、これをベースとして中長期計画並びに単年度事業計画が練られています。なお、この足立区ガイドラインには、職員育成、施設長の資質、園の運営体制（保育者の確保・育成、環境整備）、教育・保育、配慮を要する乳幼児対応、子育て支援などに関する項目など、事業面と支援面の両方が盛り込まれています。

3

カテゴリー３

経営における社会的責任

サブカテゴリー１（３－１）

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　２／２

評価項目１

社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる　　評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○非該当

サブカテゴリー２（３－２）

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　４／４

評価項目１

利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている　　評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当

評価項目２

虐待に対し組織的な防振対策と対応している　評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当

サブカテゴリー３（３－３）

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　５／５

評価項目１
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる　評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目２
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている　評点（○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー３の講評

園として守るべき法・規範・倫理などについて、周知と遵守が図られています
子ども、保護者に満足を与える保育サービスの提供に向けて、就業規則、行動指針（接遇、含）の読み合わせをして、保育に対する心構えを学び再確認しています。また、園長会で明確にされた徹底事項なども、職員会議で共有が図られ周知されています。さらに、法人本部による研修を通して自ら学ぶ姿勢を保っており、「令和6年度教育訓練計画書」により計画的な研修受講が実践されています。このように、守るべき法・規範・倫理を明らかにして、年度初めの園長説明や研修参加で理解を深める等、遵守の徹底が図られています。

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っています
苦情解決制度を利用できることや園以外の相談先（足立区子ども施設入園課）を遠慮なく利用できることを、入園時の重要事項説明書の説明を丁寧に行っています。また、苦情対応マニュアルを本社が作成し、職員へは園内研修にて周知が図られており、この中で利用者の権利侵害・個人の尊重は遵守事項であることが説明されています。また、園内研修で人権について話合う機会（年2回）も設けています。さらに、保育の振り返りにより言動を見直し、職員一人ひとりが細かく配慮し、乱暴な言葉などもしあればお互いに注意し合う体制です。

園としての透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいます
園の活動内容は、園だよりの配布や掲示を通してお知らせをしているとともに、星風会HP にも当園が情報公開されており、園長メッセージ・行事予定・園の概要を確認できます。また、地域ニーズにもとづき、園の専門性を生かして、育児相談・一時保育・保育園見学会をしており、見学者用のしおりも用意して、保護者はもちろん見学者の疑問・相談について対応がいつでもできるようにしています。さらに、地域ネットワーク連絡会議への参加や、連携園との交流、実習の受け入れなどにより、地域の情報収集とその共有がされています。

4　カテゴリー４

リスクマネジメント

サブカテゴリー１（４－１）

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　５／５

評価項目１

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる　　評点（○○○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（ＢＣＰ）を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリー２（４－２）

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　４／４

評価項目１

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている　　評点（○○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリー4の講評

日々の保育での様々なリスクを想定して、避難訓練やSIDS訓練など実施しています

園が目指している事の実現を妨げるリスクとして、特に日々の保育の中での事故・災害等を想定するなかで、避難訓練を毎月実施し、この反省会をする事で優先順位を付けています。避難訓練は事前に作成した計画のもとで行われ、避難訓練実施報告書を作成して振り返りがされています。訓練には、避難後にクラスごとの保護者による子ども引き取りを含む場合もあります。また、SIDS訓練年間計画が作成され、これにはSIDS対応のほか、痙攣・応急処置・誤嚥・嘔吐対応・心肺蘇生等も含み、実施報告書には振り返りがされています。

BCPや安全計画が作成されており、これらに基づく訓練が計画され実施しています

園のBCP（2022.6）が作成されており、体制の視点として、ステラ東京事業本部として当園がリーダー的役割を担い、有事の場合には本部事務局長との連携を図りながら体制を確保することにしています。平常時からの備え（訓練含む）・初動対応・復旧対策が明文化されています。一方で、安全計画（2023.2）も策定されています。安全点検では散歩コース・公園遊具の確認、施設点検チェック、火災報知器があり、危機管理マニュアルをはじめとして様々なリスク対応のマニュアルが整備されており、毎月の訓練テーマも計画されています。

情報管理の方法を規程に定め、情報漏洩・個人情報の管理を徹底しています

園内で使用する文書は、情報保護の対象であることを職員管理マニュアル（行動指針）で明確にしており、園外への持ち出すことは厳禁です。対象となるものを一覧表「保育園文書」に示して保管期限を設定し、取り扱い方法（情報の収集、利用、保管、廃棄など）は服務規程にて定めています。なお、個人情報を含む機密文書はカギのかかる書庫にて保管・管理がされており、園の稼働時間帯のみ閲覧可能です。また、PCは園長のパスワードのみを使うことができ、アクセス制限を設けるなど細心の注意が払われています。

5

カテゴリー５

職員と組織の能力向上

サブカテゴリー１（５－１）

事業所が目指している経営・サービスを実現する
人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況　１２／１２

評価項目１
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている　評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目２
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している　評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目３
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる　評点（○○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目４
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる　評点（○○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金、昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリー２（５－２）

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況　３／３

評価項目１

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる　　評点（○○○）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリー５の講評

人材確保に向け、法人本部との協働にて採用活動を展開しています

園の求める人材の確保に向け、法人本部との協働にて学校訪問（大学、専門学校）を積極的に行っています。また、ステラのHPを見ている方も多いため、最新の情報を盛り込むなど更新は随時行っています。また、人事異動・配置については、採用時での希望確認の他に、年に一度、グループ内全体で意向調査（アンケートのみでなく、面談を通しての意向確認を含む）を行なっており、柔軟な異動・配置に配慮しています。また、欠員が出た場合には、単なる補充ということではなく、園の求める人材像や園の状況を踏まえた採用としています。

園の求める人材像と職員意向を踏まえ、前年度末に教育訓練計画書を作成しています

園の求める人材像と職員意向を踏まえ「6年度教育訓練計画書」を5年度末までに作成しており、職員はこれに基づき今年度の研修を受講しています。この計画書の作成については、園の品質目標、5年度の教育実績を勘案し、最終的には、園長が全体のバランスを確認して設定しています。計画通りの研修受講がされているかどうかは、受講日付をこれに記入して、受講できなかったものは原則次年度に反映される仕組みです。一方、「2024年度キャリアパス研修計画」もあり、これに従った法人研修への積極的な受講にも努めています。

職員の意欲向上に向けて、研修受講の呼びかけや職場の雰囲気づくりに努めています

職員の意欲と働きがいのさらなる向上をもたらすように、園長は職員に積極的な研修受講を呼びかけるとともに、受講し易いように勤務形態を工夫し交代するなどの支援をしています。また、職員の能力向上や仕事への意欲向上を図る上で、職員の公正で的確な評価は能力に応じたものにしており、「人事考課表」(本部管理)に結果をまとめています。職場環境・職員の健康状態・ストレスなどについては、個人面談などで意向・意見等を聴取し、安心して働くための良好な人間関係（声を掛け合う、気軽な雑談ができる）づくりに努めています。

7	カテゴリー７
	事業所の重要課題に対する組織的な活動
	サブカテゴリー１（７－１）
	事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている
	評価項目１ 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その１）
	前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）
	【目標】子どもの人権に配慮した保育を行う。そのために、子どもの心情に配慮し、子ども自身が多くの人から大切な存在として受け止められることを感じながら、自己を十分に発揮して自信を持ってもらい、園は安心して生活できる場所となる事を目指す。 【理由・背景】子どもたちや家庭環境が様々に違う中、個々のペースにも合わせながら保育していく環境が必要と考えています。職員には、子どもの気持ちを受け止められる穏やかな保育者であってほしいことから、上記を目標設定しました。 【計画内容】①職員会議にて行動範囲で定めている事の再確認をする。②子どもの気持ちを傷つけるような言動や無視、差別等否定的な対応をしない、③解りやすく穏やかに語り掛け、応答的に関わる。以上①～③の内容が実現できるように、年間を通じて研修の参加やミーティングを行い、年度末の自己評価の際には足立区の「保育実践振り返りシート」で保育者自身が反省・考察に努めることとしました。

目標の設定と取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目１で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

【結果・度合い】昼休みの連絡会（12時から30分間）を使って、安全保育の実現のため、同じヒヤリハットが再度発生することのようによう対応してきました。また、言葉掛けについては、ある場面において職員が自分だったら言葉掛けはこのようにするなどの意識を持てるレベルまで進歩しています。なお、全体としての達成度は80%と評価しました。

【今後に向けて】研修参加は積極的に行く事はできたものの、子どもを見るのに精一杯な現状であり、実際の保育の中で実践し取り入れていく余裕はほぼありませんでした。研修報告だけにとどめることなく、今後実践結果をしっかりと伝えていくようにする事で、それが保育者の向上心に繋がり、意欲が湧くようになればと考えています。

評価項目２
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その２）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

【目標】小規模園ならではの魅力をアピールしていく。防犯上、園内の様子を外からは見にくい施設ではあるが、中では子どもたちの笑い声が響き楽しく感じられるようにし、散歩に行く時の楽しそうな姿も見せていきたい。さらに、親しみが持てるような壁面を窓に装飾し、子どもと一緒に花を育てるなどして明るい雰囲気を出していく。
【理由・背景】バス停の近くでバス利用者が並んでいることが多いため、室内の声も聞こえているので、さらに存在感を出していきたいと考えました。また、安全管理に十分配慮しつつ、歩道に面した園に小さな子がいる事を地域の人にも知ってもらいたいと考えました。
【計画内容】①バス停に面した窓には季節感のある壁面を装飾して、保育園をアピールする。②散歩時にすれ違いでお会いした人に保育者が積極的に挨拶するのを見て、子どもたちが挨拶できるようにする。③行事や日常の様子を写真に撮り、保護者に提示する。④連絡帳を詳細に丁寧に記入し、お迎え時も口頭でも伝える。⑤見学希望者からの問い合わせには、できる限り希望に合わせ、子供たちが保育者と過ごしている様子を見てもらうようにする。以上の①～④までの取り組みを職員が日々根気強く行いました。

目標の設定と取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った 〇具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった 〇具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った 〇目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） 〇設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた 〇次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない 〇設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目２で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

【結果・度合い】計画の①～⑤を実施したものの（達成度100%）、公園等で声を掛けてくる保護者の方に保育園をアピールするが、地域的に乳児数も少なく、思ったよりも入園希望者が少なかった。取り組みに対して、結果として効果を出していくのが厳しい現実があったと感じたため、有効性は90%と評価しています。
【今後に向けて】地域的に問題もあり（駅から遠い、近隣には認可園が多い）、園児の確保が難しいと感じてはいるが、HPの更新をしながら、園のアピールや保育士の質的向上に力を入れていきたいと考えています。

〔サービス分析：小規模保育事業〕

Ⅱ　サービス提供のプロセス項目（カテゴリー６-１～３、６－５～６）

No	共通評価項目
1	サブカテゴリー１

サービス情報の提供　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　4／4

評価項目１
利用希望者等に対してサービスの情報を提供している　　評点（○○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当

サブカテゴリー１の講評

ホームページや足立区による紹介動画を通じて、小規模保育園の特徴など伝えています

園のホームページは、日常の保育やイベントの写真の紹介からはじまり、園長からのメッセージ、行事予定、園の概要を明記しています。園長メッセージでは「家庭的な雰囲気の中、少人数だからこそ出来る子どもとの関わりを大切にしている。子どもの成長を見守り保護者の方と一緒に成長を喜びあえる保育を目指している」ことを伝えています。また基本理念、保育目標、運営方針、食育活動等も系列園共通の内容として紹介しています。足立区ホームページの小規模保育施設の紹介動画では、当園が動画作成に協力しましたので視聴を勧めています。

足立区ホームページの紹介動画では、当園の日常もわかる内容となっています

足立区ホームページにある小規模保育施設の紹介動画は、当園が足立区に協力して作成されたものです。「足立区小規模保育施設の１日をのぞいてみよう！」として、小規模保育施設の特徴、一日の流れ、日常の保育の様子など、園長や職員も登場して、わかりやすく紹介されており、当園の日常もわかる内容となっています。また区が発行する冊子（子育てガイド）や区の公式ホームページにも園の連絡先等が掲載され、区の保育コンシェルジュにも情報を載せています。表紙にイラストを配した情報量の多い「保育園のしおり」も用意しています。

利用者希望者の問い合わせや見学希望者には、園長が個別に対応しています

利用希望者からの問い合わせや見学の際は園長が個別に対応し、保育方針・保育目標や利用条件・保育内容について配付資料（見学者用のしおり）をもとに説明し、育児相談にも応じています。見学希望者の都合に合わせて、日程・時間を決めて対応しています。見学の際には、縦割り保育の小規模ならではのかかわりを見てほしいことも伝え、園の保育が理解されるよう丁寧な説明・対応を心がけています。当園が登場している足立区ホームページの小規模保育施設の紹介動画の視聴も勧めています。

2	サブカテゴリー２

サービスの開始・終了時の対応　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　6／6

評価項目１
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている　　評点（○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

評価項目２
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている　　評点（○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当

サブカテゴリー２の講評

入園前の個別面接を行い、園の重要事項など丁寧に説明し同意を得ています
入園が決定した人には園から電話して入園の意思を確認し、児童票・健康記録などの入園に必要な書類を保護者に郵送しています。サービス開始にあたり、保護者との入園前の個別面接を実施し、1時間程かけて、記入して持参してもらった必要書類を確認しながら「重要事項説明書」に沿って丁寧に説明し、保護者の同意のサインを提出してもらっています。園だよりやホームページで子どもの写真を掲載することなどについても、事前に同意書で保護者の同意を得るようにし、慣らし保育の進め方や、食物アレルギー等の配慮、意向食の確認も確認しています。

子どもが無理なく園生活に入れるように短時間から始める慣らし保育を行なっています
子どもが新しい環境に入ることで不安や負担等が生じることを丁寧に保護者へ説明し、保護者の就労状況や意向も考慮しながら、慣らし保育を実施しています。保護者の職場事情も考慮し、就労の都合や子どもの状態を見て個別に決定しており、少しずつ時間を延ばすなど子どもの負担を軽減しています。この時期は保護者の緊張もあり、登降園ともに保護者への声掛けを多くし、子どもの様子を伝えあい、保護者にとっても気軽に話せる関係構築、安心できる園でありたいと考えています。SIDS（乳幼児突然死症候群）防止についても説明しています。

退園後も、子どもや保護者と継続的な交流を図っていきたいと考えています
卒園含め、保護者転居など様々な理由で退園していく子どもには、健康の記録や制作帳、作品集などを渡し、園からメッセージも渡して、皆でお別れをしています。0～2歳児の園のため、3歳児クラスに進級の際は、全員が他園に行くことになりますが、継続的な交流を図っていきたいと考えており、退園して終わりではなく退園後も相談に応じること伝え、成長を見守っていけるようにしたい、保護者の気持ちに寄り添えるように努めたいと園では考えています。

3

サブカテゴリー３

個別状況の記録と計画策定　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　１２／１２

評価項目１
定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、
子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している　　評点（○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目２
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している　　評点（○○○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしてい	○非該当

	る	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当

評価項目３
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している　評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目４
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している　評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー３の講評

子どもの情報は児童票ファイルに集約し、成長する姿を丁寧に記録しています
入園前面談では、保護者の記入した家庭状況、生活状況や健康記録をもとに、保護者の意向を確認しています。子どもの基本的な情報、家庭状況、成育歴、発育歴、緊急連絡先やかかりつけ医などの情報など児童票ファイルに集約しています。日々の保護者とのやり取りは連絡帳を活用し、個人の月間指導計画を作成し、日々の活動は保育日誌に丁寧に記録しています。保護者のニーズの把握は、日々の連絡帳、登降園時の会話や個人面談、行事後や年度末に行うアンケート等で把握し、記録しています。

全体の計画をもとに子どもの発達と興味、地域特性を考慮した指導計画を作成しています
法人本部が作成した全体的な計画をもとに、養護と教育の各領域を考慮して指導計画を作成しています。年間指導計画は、園の特徴や地域の特性を加え園独自のものとなっており、３月末には次年度分が出来上がっています。月案、週案共に子どもの発達等を考慮して作成し、日々子どもの状況等を話合い、状況の変化に応じて見直しを行なっています。保護者には対話を通じて伝え、また園だよりの「クラスのねらい」等で知らせたり、玄関には日案を掲示しています。

保育日誌や毎月の保育会議、日々の打合せなどで子どもの情報を把握しています
児童票等子どもに関する情報は、必要な時に職員がいつでも確認できるようにしています。職員のほとんどが保育士資格を持つ常勤職員のため、記録のスキル等を十分に身に付けています。小さい園のため園長含め職員全員が子ども一人ひとりの姿を良く把握しており、同じ対応ができており、毎月の保育会議でクラスの反省会も行い職員間で共有しています。保護者とも情報共有しながら日々保育を実施していますが、報連相について一部課題とみられる場面もあり、今後改善に向け取り組んでいます。

5　サブカテゴリー５

プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　５／５

評価項目１
子どものプライバシー保護を徹底している　評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を	○非該当

	得るようにしている	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当

評価項目２
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している　　評点（○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当

サブカテゴリー５の講評

園での個人情報の取り扱いについては、入園時に保護者に説明し同意を得ています
子どもに関する情報を外部とやりとりする際には保護者の同意を得ており、重要事項説明書の中で関係機関への情報提供について明確にし、透明性を保っています。入園時にホームページや園内写真等で掲載する際の同意書をもらうとともに、大きな幹線道路に面した場所柄、時に警察等からの協力要請もあり園の玄関外にある防犯カメラ映像の情報提供もあわせて説明し、同意をもらっています。子どもの羞恥心に配慮し、おむつ替えは部屋の奥の決まった場所で行い、着替えもパーテーションを使用しています。

「ステラ保育園の人権教育」をもとに日々保育を行い、保育を振り返る時間も持っています
系列園共通の「ステラ保育園の人権教育」をもとに日々保育を行い、法人内で研修も行なうなど理解を深めています。日々の保育は、保護者の考えや気持ち、それぞれの家庭の状況、文化の違う外国籍の保護者の価値観等もふまえて、ともに子どもの成長を見守り、子どもの一人ひとりの気持ちや思いを受け止め、子どもの気持ちに寄り添いながら健やかな育ちを支える保育に努めています。区のガイドラインに沿った「振り返りシート」を使用し、自らの言動や保育を再確認する機会も設け、人権に関する意識を高めています。

6

サブカテゴリー６

事業所業務の標準化　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　５／５

評価項目１
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている　　評点（○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当

評価項目２
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている　　評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリー６の講評

園で必要な基準書・マニュアル・書式が整えられ、業務の拠り所にしています
園の拠り所となる基準書・マニュアル・手順書と、これに関連する記入様式・チェック表が設定されており、「保育園文書」にてこれらが一覧化され、組織管理、建物設備、人事・総務、児童入所、保育状況、災害対策、保安設

	備、給食・衛生、健康・安全、会計 に項目分類され保存年限も定められています。なお、保育に直接必要なマニュアル（保育計画、突然死症候群、ヒヤリハット、健康管理計画、感染症、お散歩マップ、園外保育、虐待、事故対応、危機管理、衛生管理、等）は職員全員に配布されいつでも参照できます。 拠り所である基準書・マニュアル類は必要に応じて改訂される仕組みがあります 保育の基本事項や手順について、これが標準的なものであり現在適切かの点検は、主として法人本部の役目となっています。なお、園からの提案に基づき、グループ内園長会（毎月中旬に開催）の後に見直し検討を行う機会を設けており、適切と判断されれば改訂案を本部へ提出し、そこで専門家メンバーによるレビュー（月末）がされ、合意が得られれば改訂が承認される流れです。このように、重要事項や改善に対応したマニュアル類への反映は随時改訂が施され、園内にて新たなマニュルとして活用される仕組みになっています。

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー６-４）

	サブカテゴリー４		
	サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況　３４／３４
1	評価項目１ 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている		評点（○○○○○）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当

評価項目１の講評

縦割り保育の中で子どもたちがお互いに成長し合える姿を引き出しています

0～2歳児対象の小規模な園の特性を活かし、職員全員が子ども一人ひとりの全体的な姿を把握しています。子ども一人ひとりの家庭の状況、入園までの生活状況、健康記録、入園後の発達の経過記録などをもとに、日々生活を共にする中で、現在の発達状況を把握することに努めています。人権を尊重し優しく対応することに努め、縦割り保育の中で子どもたちがお互いに成長し合える姿を引き出しています。子どもたちは職員との関わりの中から、愛情と信頼感を感じ取り、家庭で過ごすのと同じようにのびのびと生活しています。

年齢の違う子どもたちが一緒に活動し、お互いの関わりを大切にしています

ワンフロアの保育室内で一緒に生活しているため、少人数ながら子ども同士の関わりが多く、異年齢の保育が日常生活の中で自然な形で行われています。異年齢で過ごす中で刺激を受け、理解を深め友だち関係を広げたり、学び合えるようにしています。様々な外国籍の子どもを受け入れています。日本語を話すことが難しい保護者の子どもの受け入れでは十分配慮し、日々の連絡帳では時には図や絵で示したり、わかりやすく伝える工夫をしています。個別配慮が必要なケースでは区こども支援センターなどから助言を受けることも可能で日々の保育に活かしています。

子ども同士のトラブルは、それぞれの気持ちを尊重した対応を心がけています

発達過程で生じるかみつきなどトラブルは、子どもの成長過程での姿として保護者に伝えています。子ども同士それぞれの思いを汲み取りながら職員が仲立ちして気持ちを伝えられるように話しています。現状、子どものかみつきはほとんどありませんが、トラブルが重なる時は、職員の立ち位置や環境を整え、次の行動を予測して未然に防ぐよう努めています。まだ言葉で十分表現できないため、子どもの気持ちを受け止め、特に乳児の段階ではけがの無いように見守り、必要に応じて環境を見直ししています。

2	評価項目２ 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点（○○○○）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援	○非該当

	助している	
●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目２の講評

登降園時は、一日のエピソードや子どもたちの頑張りを保護者に丁寧に伝えています

登園時の受け入れでは、家庭での様子を把握することに努め、機嫌は良いか、顔色や全身状態はどうかなど確認しながら一人ひとり検温し、一日の園生活を元気に過ごせるように、保護者から家での様子を口頭で確認しています。あわせて連絡帳で確認し、食事・睡眠・排泄・体温、家庭での様子や園での様子を記載しています。降園時は、時間帯によってお迎えが重なり、園玄関で混み合うこともありますが一日のエピソード、食事やトイレのことなど、子どもの一日の様子・頑張りを丁寧に伝えるよう努めています。

無理なく意欲的に生活習慣を身につけることができるように支援しています

基本的な生活習慣については、家庭での生活習慣や様子を確認しながら、園での取り組みや取り組んで行きたいことを保護者に伝え、連携しながら一人ひとりの発達状況に応じて対応しています。食事面では、偏食する子もいますが無理強いせず、楽しい食事環境になるよう努め、「食べられてすごいね」など声がけし達成感が感じられるようにしています。トイレトレーニングは排尿間隔を把握し、一人ひとりの発達や意欲を家庭と確認し合いながら進めています。降園時の支度も2歳児は自分でできるようになっています。

午睡など十分な休息をとれるよう配慮し、子ども一人ひとり安全を確認しています

保育園の生活時間は長く、子どもたちが安全に過ごすことができるよう、身体を休めたり、安心して午睡ができるように配慮しています。早く目覚めた子どもは、無理に寝かしつけることはせず、身体を休めたり、絵本を見たり静かな遊びをして過ごしています。園は、寝心地の良い午睡用の布団を用意しています。午睡中、職員は子どもの傍らを離れず、午睡チェック表にしたがい、ブレスチェック、体の向きなど確認し安全な睡眠の確保に努めています。

3 評価項目３

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している　　評点（○○○○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目３の講評

子ども一人ひとり夢中になるものを見極め、興味を広げられるようにしています

0～2歳児までの子どもたち19名定員の小規模の園の良さを生かし、きめ細かな保育に取り組んでいます。子どもが主体的に遊び込めるように、絵本コーナー、キッチンコーナーなど、自然にごっこ遊びを始めたり、机上でブロックやお絵かきなどできるよう、子ども目線に設定したり環境を整えています。お医者さんごっこ、パズルは大好きで、子ども一人ひとり夢中になるものを見極め、興味を広げられるようにしています。手作り玩具も職員の手で多くつくられています。

絵本や歌、手遊びなどを楽しみ、言葉に対する感覚も養っています

絵本の読み聞かせなどを通して言語表現が豊かになるように努めており、子どもと保育者との日常の関わりの中から、言葉を伝え伝わる喜び、共感する楽しさを感じ言語の発達の基礎を培っています。音楽に合わせての身体表現や楽器遊びでは、クラス間が間仕切りで区切られていて壁がないので、1・2歳の取り組みを0歳児も隣で見て聞いて感じて楽しんでいます。朝の散歩前には、子どもたちみんな手拍子でクリスマスの歌を歌い、楽しそうな雰囲気の中、散歩にでかけていきました。

天気の良い日は毎日散歩に出かけ、四季の自然に触れて遊ぶ機会を大切にしています

園庭がないため、近隣の公園を園庭替わりに、天気の良い日には毎日散歩に出かけています。広い場所で集団遊びやボール遊びなど十分体を動かしたり、自然に触れたり、季節の移り変わりを肌で感じ取る機会を大切にしています。春は桜やタンポポ、秋には公園でたくさんの落ち葉を踏んで音を感じ、夏は園のある建物の敷地内でタライを用意して、じょうろや水鉄砲で水をかけ合うなど水遊びを楽しみ、季節の移り変わりを感じています。お散歩マップを作成し、マニュアルに沿って安全に配慮して出かけています。

4

評価項目４

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している　　評点（○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目４の講評

職員が上手に組み立てて子どもたちが無理なく楽しめるよう取り組んでいます

小規模園のため大々的な行事はありませんが職員が上手に組み立てて子どもたちが無理なく楽しめるよう取り組んでいます。夏まつりは「おまつりの楽しい雰囲気や友だちと遊ぶ楽しさを知る」をねらいとして、みんなで盆踊りからはじまり、各コーナーでお面つくりやヨーヨー釣り、ボール引き、サイコロ転がしなど楽しみました。保護者参加型の夏まつりや自由参観形式で行うハロウィン・ミニ運動会などを通じ、友だちとのつながり、自分の子どもの成長を感じるだけでなく、0歳児の保護者には3年間の子どもの成長の見通しも感じて頂くことができています。

様々な行事を通じて、楽しみ・季節感を味わえるようにしています

年度初めに年間の行事予定表を配付し、園だよりや連絡帳、掲示等で保護者に取り組みを伝えています。乳児施設のため、発達段階から一つの目標に向かって協力して達成感を得られるような取り組みは難しいものの、ハロウィン・ミニ運動会や夏まつり、お店屋さんごっこの他、七夕やクリスマス、節分、ひな祭りなど園全体で楽しみ・季節感を味わえるようにしています。毎月の誕生会ではみんなで歌ったり職員が出し物したり、みんなでお祝いし、ともに楽しむような内容になるよう工夫しています。

5

評価項目５

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている　　評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目５の講評

小規模園の利点を活かしゆったりとした雰囲気と環境の中で過ごせるようしています

保育時間が長い子どもが安心して過ごせるように、小規模な園の利点を活かしゆったりとした雰囲気と環境の中での保育を行うようにしています。園は使用する部屋の環境づくりも工夫し、個々の空間が保てるように仕切った

り、マットを敷いたスペースで休息も取れるようにしています。ゆったり絵本が読めるコーナー、パズルなどの机上遊び、子どもたちが大好きなお医者さんごっこのおもちゃもたくさんあり、何をして遊びたいかを聞いて、その子の好きなおもちゃを出すなどしています。強制することなく子どもが好きな遊びができるように配慮しています。

ワンフロアの環境の中で、一人ひとりが安心できるよう努めています

小規模園でワンフロアの環境の中で、職員全員で子どもを見守ることを大切にしています。保護者の帰りを待つ間に寂しくなってしまったりしたときはスキンシップを図り、一人ひとりが安心できるよう努めています。安全に留意した上で普段できない室内遊びをすることもあります。静かに遊びたい子どもは職員と１対１で絵本を読んでもらったり、保育時間が長くなる子どもが寂しさを感じないよう配慮し、少人数の家庭的な雰囲気の中で居心地の良い時間であるように園全体で取り組んでおり、子どもたちは楽しく過ごしています。

6

評価項目６

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している　　評点（〇〇〇〇）

評価	標準項目	
●あり　〇なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	〇非該当
●あり　〇なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	〇非該当
●あり　〇なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	〇非該当
●あり　〇なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	〇非該当

評価項目６の講評

系列園共通の食育計画をもとに、楽しく食べられる雰囲気つくりを心がけています

ステラ小規模保育事業の食育計画をもとに、楽しく食べられる雰囲気つくりを心がけています。法人として食育目標と月齢別の食育のねらいを定め、食べることの大切さ、給食を通して皆で食べることの楽しさを感じていくことで、子どもたちが「食」に興味を持ち、感謝する心を育むことも給食の大きな役割と考えています。毎月の給食だよりとともにホームページにも掲載しています。子どもが口にするものに関して、食材の大きさや硬さなど子どもの状況、成長に合わせ対応し、完食にこだわらず、子どもが段階的に食習慣の獲得ができるよう取り組んでいます。

アレルギー児対応確認表をもとに、安心して食べられるよう取り組んでいます

食物アレルギー対応マニュアルを整備し、医師の診断書、指示書をもとに保護者と給食担当者、園長、担任を含めた面談を行い、献立のチェックから調理、献立提供にいたるまで確認をし、個別トレーによる配膳をし、誤食防止に努めています。アレルギー児対応確認表をもとに確実に確認を行い、安心して食べられるよう取り組んでおり、食物アレルギーに対する職員間の認識を深め、仮に有事があった際にも適切な対応を取ることができる体制を整えています。離乳食に関しては家庭で一度試してもらった上で対応しています。

栽培等は難しいですが、栄養士が中心となり工夫しながら食育に取り組んでいます

小規模園で、園の前は大きな幹線道路に面していることもあり栽培は難しい環境ですが、栄養士が中心となり工夫しながら、子どもたちが食に関心がもてるよう、楽しめる食育に取り組んでいます。栄養士が買ってきた旬の野菜（オクラ、ピーマン、ハスなど）を使って野菜スタンプやとうもろこしの皮むきなど行い、感触や匂いなど楽しんいます。食に関する紙芝居、素材に関するものの絵本の読み聞かせなども行なっています。法人の栄養士による魚を使った食の取り組みも検討されていますが、園としても今後様々取り組んでいきたいと考えています。

7

評価項目７

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している　　評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
●あり　〇なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助してい	〇非該当

	る	
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当

評価項目７の講評

健康や安全の関心を持つよう、必要な行動を日々の戸外活動で体験しています

散歩等の戸外活動の前には外出時のお約束を園児に話し、公園での遊び方、散歩時の信号の見方や横断歩道の渡り方など、必要に応じて危険について「道路を歩くときはどうする？」と話したり、安全のために必要な行動を日々の戸外活動で体験しています。登園時や散歩から帰った際など子どもが自ら石けんで手を洗い清潔の意識をもてるよう声掛けだけでなく、年齢に応じて介助しながら基本的な清潔の習慣が身につくように繰り返し取り組んでいます。絵本なども活用し健康教育に取り組んでいます。

医療的なケアが必要な子どもの対応にも配慮をしています

嘱託医により、全園児の定期健康診断を年2回実施しています。健診結果を保護者と共有しており、毎月の身体計測の結果も保護者に知らせています。園での与薬は基本的に行っていませんが、保育中に与薬や塗布が必要なケースでは個別に相談に応じています。与薬が必要な場合は医師からの与薬指示書と保護者からは与薬依頼書を提出もらい与薬を行っており、必要に応じて生活管理指導票が作成され、医療的なケアが必要な場合は嘱託医と連携しています。

乳幼児突然死症候群や子どもの健康、感染症に関する情報を保護者と共有しています

事故防止マニュアルなど整備されており、SIDS（乳幼児突然死症候群）については、0歳児は5分ごと、1,2歳児は10分ごとに呼吸チェックを実施し、顔と体の向きも記録しています。系列認可保育所の看護師の協力で園だよりの中に「保健だより」として掲載しており、健康に関する情報など保護者に提供し、安全に配慮した保育を行っています。感染症の発生時には病名、発症状況、予防など情報提供を行い感染拡大防止に努めてもらうよう保護者に呼びかけています。入園時には、健康管理、病気の時の対応について重要事項説明書の中で説明しています。

8

評価項目８

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている　　評点（○○○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目８の講評

子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援するよう努めています

小規模園の良さを活かし、保護者と日頃から会話を大切にしています。日々の保護者との会話や連絡帳のやりとり、年2回の個人面談等を通じて、気になる様子など把握したら積極的に声をかけ、子育ての悩みや個々の相談にも快く応じています。また家庭状況を把握しており、当日残業で急な保育時間の変更などがあってもできる限り柔軟に対応し、保護者が安心して就労できるよう配慮しています。お迎え時、保護者とゆっくり話せる機会をもつようにして保護者と信頼関係を深めていきたいとしています。

保護者参加行事などを通じて、保護者同士が交流できる機会を設けています

小規模園ながら、保護者同士が交流できる行事として夏祭りや自由参観形式で行うハロウィン・ミニ運動会を実施し、保育参観も行なっています。子どもたちの成長を感じながら、普段なかなかお会いすることのできない保護者同士の距離が縮まり親近感が深まっています。保育の見通しを保護者と共有し、理解し合うために園だよりやお知らせで保育のねらいを説明し、日々の保育を写真で紹介したり、保育活動に興味を持ってもらえるようにしていま

す。連絡帳は子どもの表情や微笑ましい姿が伝わるように記入しています。

保育参観などを通じて、園の保育や子どもの発達など理解が深まるようにしています
保育参観を実施していますが、子どもたちの様子を見るだけでなく、保護者も一緒に遊んだり、子どもたちと一緒に給食を食べてもらったりもしています。子どもたちの姿を見てもらいたいという思いで、今後も園の行事に参加を呼びかけ、積極的に関わってもらいたいと考えています。年度末に実施する保護者アンケートは12の具体的な項目について評価を記入してもらい、自由意見含め集計結果を保護者にフィードバックしています。園の様子を理解してもらうことで、安心感と信頼関係を作っていきたいとしています。

9

評価項目９
地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている　　評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目９の講評

公園や区役所、消防署等地域資源を活用して多様な体験や交流ができるようにしています
園は園庭がないため、天候の良い日には毎日0～2歳児クラスみんなでいろいろな公園に出かけ、地域に親しみ、公園で出会う親子や他園の子どもたちと一緒に遊び、交流を図っています。園の前は大きな幹線道路で少し歩くと区役所があり、散歩の途中で消防署の前を通るなど、散歩ルートで子どもたちが地域を知る機会を作っています。地域の人へのあいさつは欠かさず、地域との交流が人の温かさを感じさせてくれます。消防署見学、区役所に展示物を見に行って写真を撮ったりするなど地域資源を活用し子どもが多様な体験や交流ができる機会を設けています。

職員以外の人と交流できる機会、地域との交流に向けさらなる取り組みが期待されます
散歩ルートを考えるなどして子どもたちが地域を知る機会を作り、園以外の人と触れ合える取り組みを行なっていますが、小規模園のため地域の人を園に招くことは難しく、また地域の行事に参加する等の取り組みも不十分な状況です。難しい状況の中、園では地域とのかかわりを少しずつ増やしていきたいとも考えており、毎年行なっている看護実習生の受け入れをきっかけにした取り組みや連携園とのかかわりなどにより、様々な活動を積み重ね地域社会との交流を進められることが期待されます。

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル①	内外研修（都区・ステラ本社・園内）への積極的参加と出席後の園内共有があります	
内容①	研修の年間計画は、足立区／東京都、法人、園内のものを織り交ぜて、スキルアップとキャリアアップを連動させており、職員の積極的な参加があります。外部研修へ参加においては、シフト調整により出席しやすいように園が支援しています。また、内外の研修参加後は、職員の誰が行っても内容について園内で情報共有がされます。研修記録は個人ごとファイルし研修履歴としての把握もできます。職員アンケートは、研修による意識向上、スキルアップ、また、他園職員との交流など、多くのメリットのあることを伝えています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊に展開されるよう工夫している
タイトル②	園庭がないため、近隣の公園を園庭替わりに積極的に戸外遊びに取り組んでいます	
内容②	園庭がないため、近隣の公園を園庭替わりに、戸外遊びは力を入れて取り組んでいます。天気の良い日には毎日散歩に出かけ、広い場所で集団遊びやボール遊びなど十分体を動かしたり、自然に触れたり、季節の移り変わりを肌で感じ取る機会を大切にしています。気持ちを発散し、思い切り体を動かし健康的に過ごせるようにしています。花や虫などの生物への関心が高まり、大切にしようとする心の育ち、名前やいろいろなことを知ろうとするきっかけになるなど、心身ともに楽しみながら、成長できています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	保育参観などを通じて、日常の保育や取り組みなど理解が深まるようにしています	
内容③	保育参観では、子どもたちの様子を見るだけでなく保護者も一緒に遊んだり子どもたちと一緒に給食を食べてもらったりもしています。保護者参加型の夏まつりや自由参観形式で行うハロウィン・ミニ運動会などを通じ、友だちとのつながり、自分の子どもの成長を感じるだけでなく0歳児の保護者には3年間の子どもの成長の見通しも感じて頂くことができています。園の様子・取り組みを理解してもらうことで安心感と信頼関係を作っていきたいとしています。普段なかなかお会いすることのできない保護者同士の交流もでき距離が縮まり親近感も深まっています。	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	小規模園の特性を活かし、子ども一人ひとり大切に関わることを園の保育姿勢として家庭的で丁寧な保育に取り組んでいます
	内容	0～2歳児まで19名定員の小規模園の良さを活かし、ゆったり過ごし、家庭的で温かい雰囲気の中で子ども一人ひとりに寄り添い、丁寧に関わることを徹底しています。クラス担当のみならず職員全員が子ども一人ひとりの全体的な姿を把握しており、日々職員間で問題点や状況を共有し話し合いを重ねています。園として小規模ならではの強みとした丁寧な保育を通じ、保護者の安心感、信頼感につなげて行きたいとして、日々向き合っています。保護者アンケートでも「担任の先生だけでなく、先生全員に見守られていて安心です」などの声もありました。
2	タイトル	多様なサービスを提供し、子どもを保護者に寄り添い、信頼関係を築きながら安心して預けられる園を目指しています
	内容	小規模な園ですが、一時預かり保育のほか、外国人児童や配慮が必要な子（障害がある子を含む）の受け入れなど多様なサービスを提供しています。また、区の子ども家庭支援センターなどから相談を受け、連携しながら育児困難家庭への支援にも取り組んでいます。経験豊富な職員も多く、保護者に寄り添いながら、子ども一人ひとりの個性を大切にした保育を実践しています。子ども同士がお互いを尊重し、認め合いながら成長できる環境を育み、保護者と信頼関係を築きながら安心して預けられる園を目指しています。
3	タイトル	万が一の場合に備え、SIDSのシミュレーション訓練を繰り返し実施し、午睡の安全体制を強化しています
	内容	SISD防止の午睡チェックシート（年齢により5分/10分毎）によって、日々の安全確認を実施しています。さらに、万が一の場合に備え、シミュレーション訓練（AED＋救命救急）を年間計画によりほぼ毎月、職員全員参加のもとで実施しています。訓練記録には、訓練状況の詳細を記録（日時、発生状況、分刻み）し、「周囲・状況確認→反応確認→指示（119通報、AED持参）→呼吸確認→心臓マッサージ⇔AED→救急隊への引継ぎ」 が記載され、シミュレーション訓練の有効性のチェック（各段階で適切な対応ができたか）も記載しています。

No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保育所の安全計画の運用において、当年度開始前に計画改訂をするなど丁寧に取り組むことが期待されます
	内容	保育所における安全計画（R5.4.1）が整備されており、その時既に作成されていたものを含む各種安全マニュアルの内容・見直しも同時に行ない、安全点検（散歩コース・公園遊具、施設点検、火災報知器）、避難訓練（地震、火災、消火、通報、水害、地震による火災）も計画し、本年度もそれに沿って、毎月の点検・訓練・研修を実施しています。しかしながら、あくまで昨年度版に基づいたものであり今年度版ではありません。よって、当該年度開始を前に毎年、安全計画を見直し、更新するなど丁寧に取り組むことが期待されます。
2	タイトル	事業所の重要課題に対する活動は、間をあけずに毎年実践することが期待されます
	内容	前回の東京都・福祉第三者評価から今回の評価に至るまで、間の2年間には重要課題に取り組んだ実績記録が見当たりません（3年ごと受審のため）。なお、重要課題への取り組みは、年度ごとに課題抽出・計画・実行・フォローアップを重ねることで、サービス品質の向上、事業の進展・展開が図られます。つきましては、毎年度、重要課題に対する活動が実践される仕組みづくりが期待されます。年度ごとに事業計画書・報告書を運用する仕組みはありますので、この中で取り組むことや、中長期計画に入れることも有効と思われます。
3	タイトル	問い合わせのあった方や見学希望者だけでなく、広範囲の方に紹介動画を見ていただく取り組みなど、今後のさらなる取り組みが期待されます
	内容	ホームページや保育園のしおりで園の情報を提供しています。また足立区に協力して作成した小規模保育事業の紹介動画は「ステラ中央本町」をもとに作成され、当園の日常もわかる内容となっており、利用希望者の見学時には紹介動画の視聴も合わせて声がけしています。今後はホームページ更新とともに、紹介動画をもっと活用してアピールいきたいとも考えています。見学希望者だけでなく、SNSやQRコードを活用して広範囲の方に紹介動画を見ていただく取り組みなど、今後のさらなる取り組みが期待されます。